

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|------|---------------|
| ○事業所名 | ハーモニークロック北町 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年 11月 1日 | | 2024年 11月 30日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 10世帯 | (回答者数) 10世帯 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年 11月 1日 | | 2024年 11月 30日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5名 | (回答者数) 5名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 3月 20日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | 児童発達支援と放課後等デイサービスが一体となって運営しているため、子ども一人ひとりに対して長期的なライフサイクルで支援することが出来る。 | 一人ひとりが抱えている障がいや病気を考慮して過ごせるよう各部屋を有効活用している。終礼や季節のプログラムの際には皆で一緒に参加し子ども同士の交流の場も大切にしている。 | 外部の講師を招き、特別プログラムや保護者向けの講習会等を開催している。今後も職員や保護者の意見を聞きながら、様々な分野の人達に協力してもらうことを考えます。 |
| 2 | 通所している子ども達が安心して過ごせるよう、スタッフは子ども一人ひとりとときめ細かなコミュニケーションを重視し、日々のちょっとした変化にすぐ対応出来るようにしている。 | 様々な資格や経験を有している職員を配置することにより、支援の質を日々充実出来るようにしている。子ども達の安全性を確認しながら、職員の配置を柔軟に入れ替えることで誰でもスムーズに支援が出来るようにしている。 | 制作や音楽など支援員の得意分野を使ったプログラムを行う。 |
| 3 | 児童が興味を持って取り組める支援内容を行っている。このことにより、利用児童が楽しんで活動に参加出来ている。 | 音楽療法と運動療育を軸に支援を行っている。音楽療法では児童の関心に合わせて教材を工夫し、興味を持って取り組めるようにしている。運動では内容が単調にならないように、運動遊びを組み入れている。 | ピアノやクラリネットなど児童が自然に体を動かしたくなるような楽器や内容を工夫する。 活発に体を動かすことによって起こることが予想される接触や転倒などの怪我の予防に配慮する。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 他事業所との連携。 | 自事業所で手いっぱい連携までたどり着かないお子様もいる。 | どのような内容を共有するのか、目的を明確にする。 |
| 2 | 児童発達支援において、サービス提供時間が限定的となってしまうため、保護者のニーズに応えることが出来なくなっている。 | 送迎の車にも限界がある為、新たな人材の育成が必要。 | ハローワークに行き、リクエスト等を活用する。 |
| 3 | 放課後児童クラブ、児童館との交流などを通して地域の子供たちとの交流ができていない。 | 学童クラブや児童館の運営状況等を把握していないため、地域の子供たちとの交流の方法について考えが及んでいない。 | 交流について学童クラブや児童館に意見を伺い、実施可能な手立てを考える。 地域交流の一環として地域の行事に参加しているが昨年で終了してしまった。 |